

## 令和6年度第1回熊本県地域公共交通協議会 議事要旨

- 日 時 令和6年6月26日（水）10時00分～12時00分
- 場 所 ホテル熊本テルサ「たい樹」
- 出席者 会議資料のとおり
- 内容詳細 会議資料のとおり

### 【議事要旨】

#### <議事1：令和5年度事業報告及び収支決算案について>

##### ○事務局

（・「資料1」に基づき、令和5年度事業報告及び収支決算案について説明。）

⇒ 賛成多数により、原案のとおり承認。

#### <議事2：令和6年度事業計画及び収支予算案について>

##### ○事務局

（・「資料2」に基づき、令和6年度事業計画及び収支予算案について説明。）

⇒ 賛成多数により、原案のとおり承認。

#### <議事3：熊本県地域公共交通計画の変更について>

##### ○事務局

（・「資料3」に基づき、熊本県地域公共交通計画の変更について説明。）

⇒ 賛成多数により、原案のとおり承認。

#### <議事4：地域間幹線系統に係る地域公共交通確保維持事業の詳細について>

##### ○事務局

（・「資料4」に基づき、地域間幹線系統に係る地域公共交通確保維持事業の詳細について説明。）

⇒ 賛成多数により、原案のとおり承認。

### 【意見交換等】

#### <① 熊本地域乗合バス事業共同経営について>

##### ○高田委員（共同経営推進室）

（・路線バス共同経営の取組状況、交通系決済サービスの今後の展開等について説明。）

##### ○森山会長

・厳しい環境の中で、交通事業者の皆様が様々な取り組みをされていることに感謝する。

## <② 国における取組み等について>

### ○傳委員（国土交通省九州運輸局）

- ・5月に地域の公共交通リ・デザイン実現会議のとりまとめが行われ、その中で熊本県内の5事業者で構成される共同経営推進室の取組みが全国的な先進事例として紹介されている。交通事業者と自治体が共同しての、エリア内均一運賃等の取組みが評価されている。
- ・各自治体へ、令和7年度における社会資本整備総合交付金（地域公共交通再構築事業）の要望調査を実施している。交通結節点の拠点を変更する場合などが対象となる。ぜひ活用を検討してほしい。

## <③ 熊本県における取組み等について>

### ○事務局

（・地域公共交通の利用促進への取組み、九州MaaSについて説明。）

## <④ 九州旅客鉄道株式会社熊本支社における取組み等について>

### ○船越委員（九州旅客鉄道株式会社熊本支社）

（・鉄道事業における営業施策、未来鉄道プロジェクト等について説明。）

## <⑤ 熊本電気鉄道株式会社（鉄道事業部）における取組み等について>

### ○横山委員（熊本電気鉄道株式会社（鉄道事業部））

（・現在の利用状況、利用促進に向けた他団体との連携状況等について説明。）

## <⑥ 一般社団法人熊本県タクシー協会における取組み等について>

### ○小山委員（一般社団法人熊本県タクシー協会）

- ・現在、乗務員の数はコロナ前の8割ほどに回復。賃金の上昇もあり、熊本市内のタクシー運転手の数は増加、年齢は若返りの傾向にある。
- ・以前と比較して、タクシーがないという状況は改善されていると思われる。
- ・長い歴史を持つタクシー業界の技術や安全管理を以て、タクシー会社が主導する日本型ライドシェアに取り組んでいく。

## <その他>

### ○大井副会長

- ・熊本県内の幹線路線バスの廃止申請が多いことを懸念している。影響を最小限にとどめ、前向きな検討をしてほしい。
- ・交通系決済サービスについて、（全国交通系ICカードは）現状利用客の25%を占める。タッチ決済はクレジットカードを保有できない方が使えないので全国共通系ICの代替にはなりにくく、全国交通系ICカードの利用者が公共交通の利用を忌避して逸走することを懸念している。交通事業者のみに責任を負わせるのではなく、中長期的に見て利便性を損ねることのないよう、国・県等で多角的な視点

からの支援をいただきたい。

- ・運転士不足により、地方部でもライドシェア導入を余儀なくされる可能性がある。運転士の人材確保の視点から上手く制度を活用しながら、熊本県の公共交通全体が良くなる取組みにつながっていくことが望ましい。

**○森山会長**

- ・交通系決済サービスやライドシェアについて、県としても引き続きしっかりと取り組んでいく。

(以上)